

令和5年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者 評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①生徒一人ひとりに 応じた指導と生徒の 主体性を育む学習指 導を推進する。 ②福祉マインドを培 う教育活動を推進 し、社会に通用する 人間を育てる。	①ICT機器等の活用レ ベルを向上させ、特に「個別 最適な学び」の実践をと おして、主体的に学習に取り 組む生徒を育成する。 ①生徒が主体的に企画・運 営を行う行事へと確立す る。 ②日野中央高等特別支援学 校との相互連携と生徒相互 の交流をより深め、「総合 的な探究の時間」の内容を 充実させることにより、教 育活動全体を通して福祉マ インドを育成する。	①ICT機器や指導法に関する校内 研修会を通して、ICT機器の積極 的な活用を促すとともに、生徒1人 1台端末の活用方法について情報共 有を図り、課題配信や提出など教科 ごとに有効な活用方法の実践に結び 付ける。 ①行事の実施等にあたり、ICT 機器を活用し、生徒が主体的に情報 発信や意見集約などを行うことによ り、生徒会、学級、学年等の連携を 図る。 ②総合的な探究の時間において、課 題設定や探究活動を通して日野中央 高等特別支援学校との相互連携を図 り、生徒相互の理解をより深め、思 いやりの心を醸成する。また、学校 行事でも地域施設との交流を行い、 2・3年生においても福祉マインド を培う機会を増やす。	①ICT機器・学習支援ソフ トを活用し、「個別最適な学 び」をとおして、生徒が主体 的に学習できるよう授業改善 への取組が確認できたか。 ①生徒会本部や各委員会等か ら生徒へ向けた発信を定期的 に行うことができたか。 ②日野中央高等特別支援学校 との相互連携をとおして、 「福祉探究」の内容から課題 を発見し、発表することがで きたか。また、学校行事を含 め相互交流の機会を増やすこ とができたか。					
2 生徒指導 ・支援	①基本的な生活習慣の 確立を図り、規範意 識を高める。 ②生徒一人ひとりの 個に応じた支援体制 の充実を図り、豊か な人間性と社会性を 育む。	①日頃から生活態度（特に SNS関連）への注意を喚 起し、規範意識を高め る。 ②インクルーシブ教育の実 施に向けた教育相談体制の 充実を図る。	①各グループ及び学年と情報を共有 し、生徒の観察に努め問題行動等の 未然防止に取り組む。 ①在学中に社会人（大人）になるこ とをふまえたマナーの向上に取り組 む。 ②校内外の専門家や教育機関と連携 し、組織的な支援体制をさらに充実 させる。	①学年集会等、時機に応じ て、規範意識の向上に務める 施策（講話等）が行えたか。 ②SC及びSSWも交えた全 職員で教育相談体制を理解、 確立できたか。 ②各生徒に応じた適切な支援 を行えたか。					
3 進路指導 ・支援	①生徒の主体的な活 動を通して、進路実 現・自己実現を果た す力を育成する。 ②進路指導計画の充 実を図る。	①3年間を見通した進路計 画の下、生徒が希望の進路 を自ら切り拓く姿勢を育成 する。 ②希望する進路に対応した 進路指導についてICT機 器を有効活用し、生徒の主 体的で適切な進路選択に向 けた指導を推進する。	①定期的な外部試験により実力の定 着を図り、Classiを効果的に活用 し、生徒の進路実現を目指す。 ②Google クラウドルームを作り、効 果的に情報提供を行い、LHR等で 進路別ガイダンスを行うなど生徒の 進路選択に資するキャリア教育を推 進する。	①Classiを効果的に活用し、 生徒の実力の向上、進路実現 ができたか。 ②計画的にキャリア教育に取り 組むことができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者 評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と 課題	改善方策等
4	地域等との協働	①地域との連携・協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。 ②豊かな人間性を育むために地域等の教育力を活用する。	①生徒が主体となって、地域との連携を図る。 ②地域貢献活動に取り組む。	①日野小学校と連携を図り、生徒が主体となって、図書の読み聞かせを実施することにより、信頼される学校づくりを進める。 ②生徒を中心に清掃活動に取り組む。	①生徒が主体となって計画的に取り組むことができたか。 ②生徒が清掃活動の意義を確認し取り組むことができたか。					
5	学校管理 学校運営	①生徒が安心して通える、安全で信頼される学校づくりを進める。 ②教職員の働き方改革を推進するための教員の意識改革を図る。	①校舎内外の安心・安全な環境整備と清潔な学習環境を維持する。 ②職場環境の改善を図り教職員の働き方改革を推進する。	①校舎内外の環境を把握・確認し、他グループ等と連携し改善を図る。 ①生徒が主体的に取り組むことができるよう美化委員会を活用して校内美化・衛生に努める。 ①災害時の安全に配慮した防災計画を企画する。 ②教職員、PTA等から意見を集約し検討する。	①現状を把握し、適切に対応できたか。 ①生徒は主体的に美化活動に取り組むことができたか。 ①実際の災害を想定した避難訓練が実施できたか。 ②教職員等の提案・意見を集約し課題を洗い出すことができたか。					